

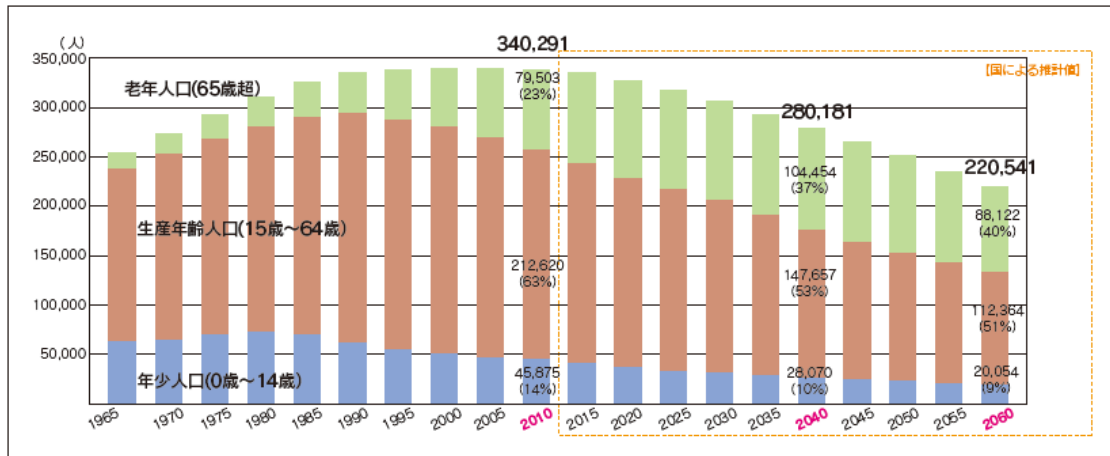
県都まえばし創生プラン（前橋版人口ビジョン・総合戦略）の概要

1 前橋版人口ビジョン

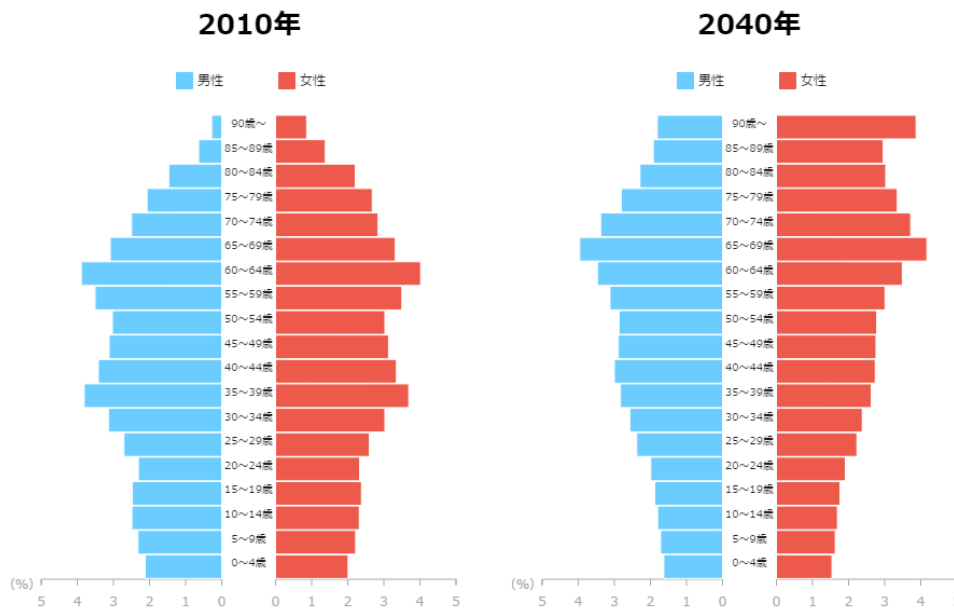
(1) 前橋市の人口動向（国による推計）

- ・本市の人口は、既に減少局面へと突入しており、現状のまま人口減少が進んだ場合、2040年には約28万人、2060年には約22万人に減少すると推計
- ・加えて、人口構造の変化が生じ、2010年に約23%であった高齢化率は、2060年には約40%まで上昇すると推計

(図1) 本市の長期的な人口推移



(図2) 本市の人口ピラミッド



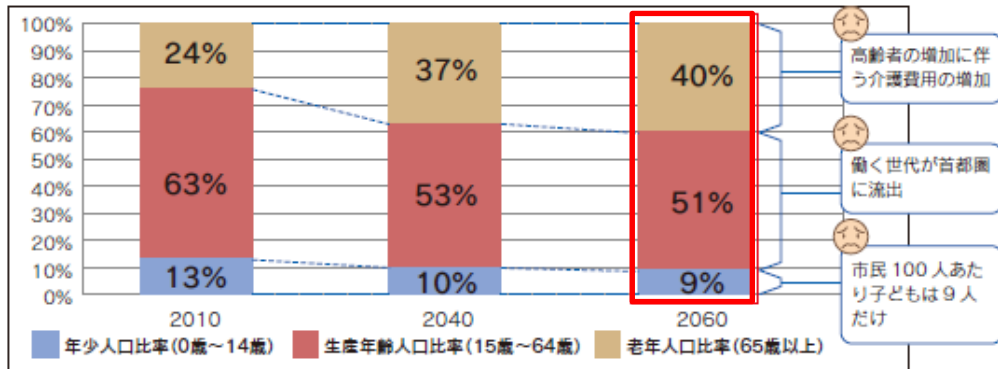
(2) 目指す将来の方向

①人口の将来展望

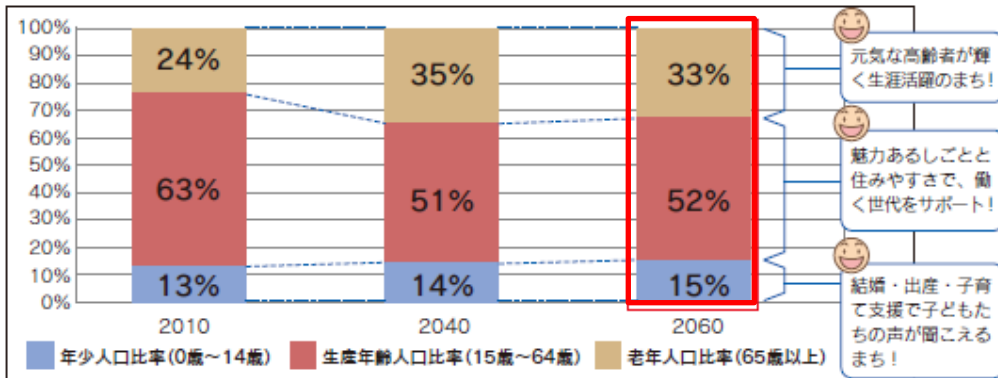
- ・人口減少の影響を緩やかにし、2040年の人口目標を30万人(国推計+2万人)、2060年の人口目標を26万5千人(国推計+4.5万人)と設定します。
- ・さらには、地域の活力を維持し、安定した行政サービスを提供していくため、バランスの取れた人口構造を目指します。

(図3) 人口推計に基づく年齢3区分別推移

<現状>



<将来展望>



②基本目標

<基本目標1>

若者(18-34歳、特に女性)の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

<基本目標2>

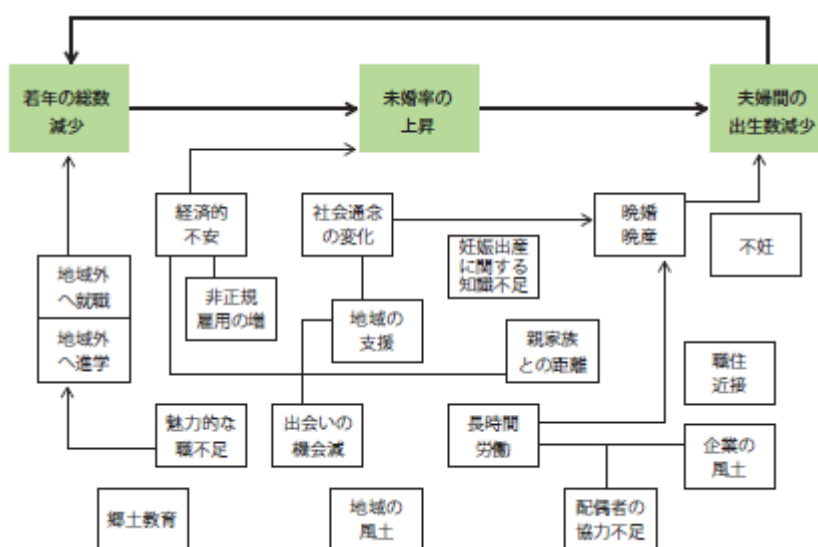
若者の定着と高齢者の活躍により、地域の活力を維持する

2 前橋版総合戦略

(1) 基本的な考え方

- ・人口減少は、社会環境、経済環境、価値観・ライフスタイルの変化など、様々な要因が複雑に絡み合った結果として生じています。したがって、何か一つの処方箋によって劇的な成果が挙げられるものではなく、多岐に渡る取り組みを中長期的に継続して推進することが重要です。

(図4) 人口減少の要因イメージ



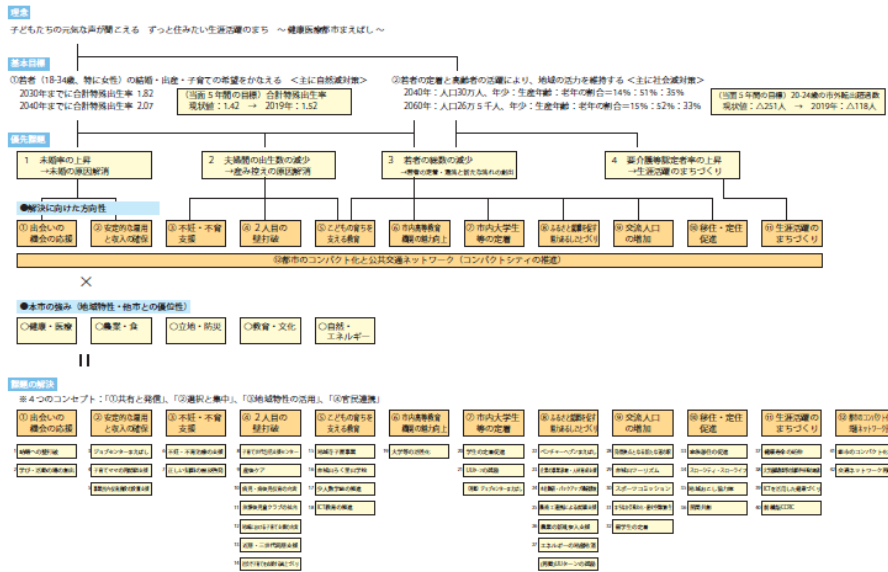
- ・しかしながら、将来的には人口と税収の減収が見込まれ、行政があらゆる公共的サービスを提供することには限界があるのも事実です。また、望む・望まない、良い・悪いは別として、今後ますます自治体間競争が加速していくことが見込まれます。
- ・総合戦略では、人口ビジョンの分析から導かれた基本目標の達成に向けて、重要業績指標（KPI）を設定するとともに、4つのコンセプト（①共有と発信、②選択と集中、③地域特性の活用、④官民連携）のもと、計画期間（平成 27-31 年度）に実施する施策を記載します。

(2) 重要業績指標（KPI）

指標	現状値（26 年度）	目標値（31 年度）
合計特殊出生率	1.42 人	1.52 人
20-24 歳の市外への転出超過数	△252 人	△118 人

(3) 総合戦略の構成 (体系図)

「理念」、「基本目標と優先課題」、「課題の解決」がそれぞれ目的と手段でつながっています。 ※詳細は、右ページ参照



(4) 10のシンボル事業

